

令和6年3月21日 記者会見資料 文化芸術課



令和6年3月22日(金)オープン

長野市役所階遊美術館

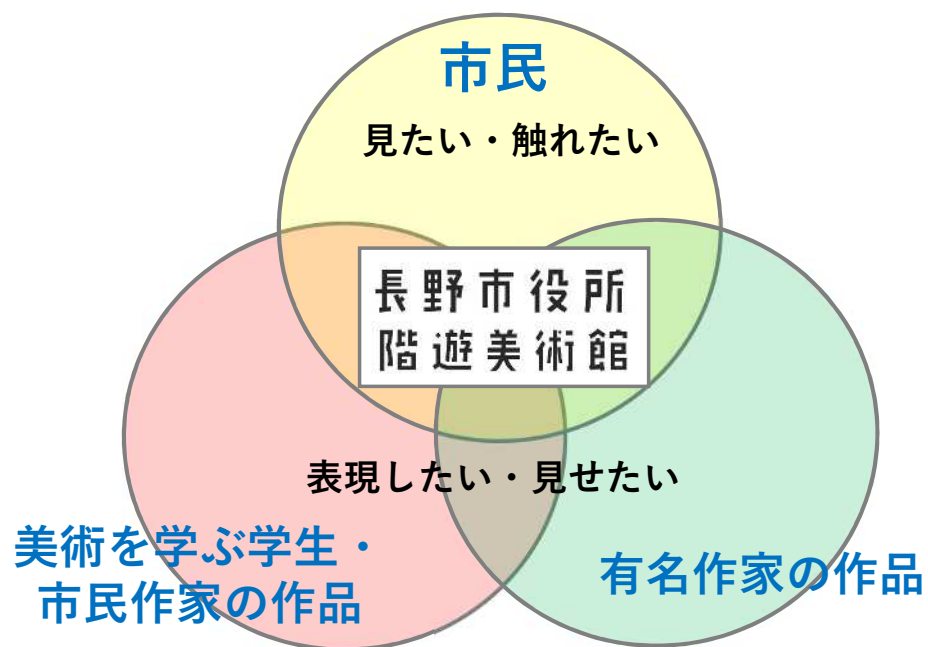
市役所をまるっと芸術館に

「長野市役所階遊美術館 ～市役所をまるっと芸術館に～」は、市役所第一庁舎を長野市芸術館と一体の「芸術館」になぞらえ、音楽や演劇など「動」のに対し、絵画、彫刻、陶芸など「静」の作品を展示します。



1 テーマ 「集い、出会い、つながる」

2 コンセプト



① 市が所有する有名作家の作品、小・中学生や美術を学ぶ学生・市民作家の作品を展示し、アート(美術、芸術)を見たい・触れたい市民が集い、作品と出会い、つながる空間とする。

② 市役所がアート(美術、芸術)の力により、誰もが気軽に立ち寄れる居心地の良い空間となり、地域のよりどころとして、幸せをつくる場所となることを目指す。

FLOOR GUIDE

芸術作品を見たい、触れたい市民が集い、作品と出会い、つながる空間

長野市役所階遊美術館

市役所をまるごと芸術館に

6
長野市役所階遊美術館



展示場所のご案内

市役所第一庁舎の各フロアーには左のような案内看板が立っています。フロアーのどこに作品が展示されているかひと目でわかりますのでご確認ください。

7階
市所有の作家作品



8階
美術を学ぶ学生作品



5階
ミズテツオ 藤井令太郎 (市所有)



愛・奥野 90 希望・佳績(1996)
ミズテツオ(1944~) 画家
東京生まれ。海上における船舶間の通信に用いられる「国際信号旗」を組み合わせたフラッグシリーズにより独自の絵画世界を確立。1980年代から脚光を浴びる。



荒野(1964)
藤井令太郎(ふじいれいたろう 1913~1980) 画家
長野市生まれ。武蔵野美術大学教授。1953年春瑞雲会展に初出品し春瑞雲賞を受賞。椅子を主題とした作品を多く描いている。1977年安井賞選考委員。

6階
企画展示

市民作家・学生等の作品を定期的にテーマを決めて展示します



1・3階
水上民平 千葉祐子 (市所有)



夏秋のころ(1976) 河原の花(1974)



夏目河原(1949) 山村の暮(1954)

水上 民平(みなかみ みんぺい 1898~1994) 画家
長野市生まれ。国画会会員。長野県芸術文化功労者受賞。美術教員の仕事から中央画壇でも活躍。身近な自然を描いた風景画や蝶、花をテーマとした思想的な作風が特徴である。



暗鳴(2007) 流砂西今(2005)



会環鼓(2012) 寒丘(2010) 月鳴(2009)

千葉祐子(ちばひろこ 1937~2020) 染色家
長野市生まれ。日展会員、現代工芸美術家協会本会員・審査員、第41回日展特選受賞。アフリカの砂漠に分布する植物ウェルウィッチア(「不死の二枚葉」の意味)をモチーフにした作品で知られる染色作家

4階

市内小・中学校の児童・生徒作品



2階

美術を学ぶ学生作品



市が所有する芸術作品や、市民の皆さん、学生、子どもたちの作品をお楽しみください

問い合わせ 長野市 文化芸術課
長野市大字観音寺町1613 第二庁舎4階
tel.026-224-7504